

地方公共団体名	鹿児島県志布志市
所属部局	市民環境課
地域の抱える環境・脱炭素に関する課題	本市の特性として、全体的に化石燃料由来の温室効果ガスの排出量が多く、その発生源の大半は自動車及び農林水産業が占めている。志布志市地球温暖化対策実行計画の2050年脱炭素将来推計結果においても、農林水産業の排出量（見込み）が最も多いため、その削減が課題となっている。
環境・脱炭素と同時解決したい地域課題	本市ではごみの焼却処分は行わず、約75%のごみを再資源化し、残りのごみは埋立処分を行っている。最終処分場の延命化等のため、現状、埋立られているごみの減量化と利活用が課題となっている。
地域のありたい未来	「SDGs未来都市・志布志市ゼロカーボンシティ」実現による持続可能でレジリエントなまち
マッチングを望む分野	高 1 住宅・民間への太陽光発電普及 優 2 木質バイオマス発電・熱利用 先 3 カーボンオフセット・J-クレジット 度 4 森林管理・活用・生物多様性 ↓ 低 5 交通分野の脱炭素（EV等） その他 : _____
マッチング企業と取り組みたい事業	・農林水産業におけるペロブスカイト発電等の活用及び発熱ボイラーの再エネ化 ・ごみ由来原料の固形燃料RPFの活用策 ・ブルーカーボンクレジット創出に向けた藻場再生 ・「2025年度 SDG s 未来都市」に向けた循環型経済の構築（ごみの減量化・再資源化）